

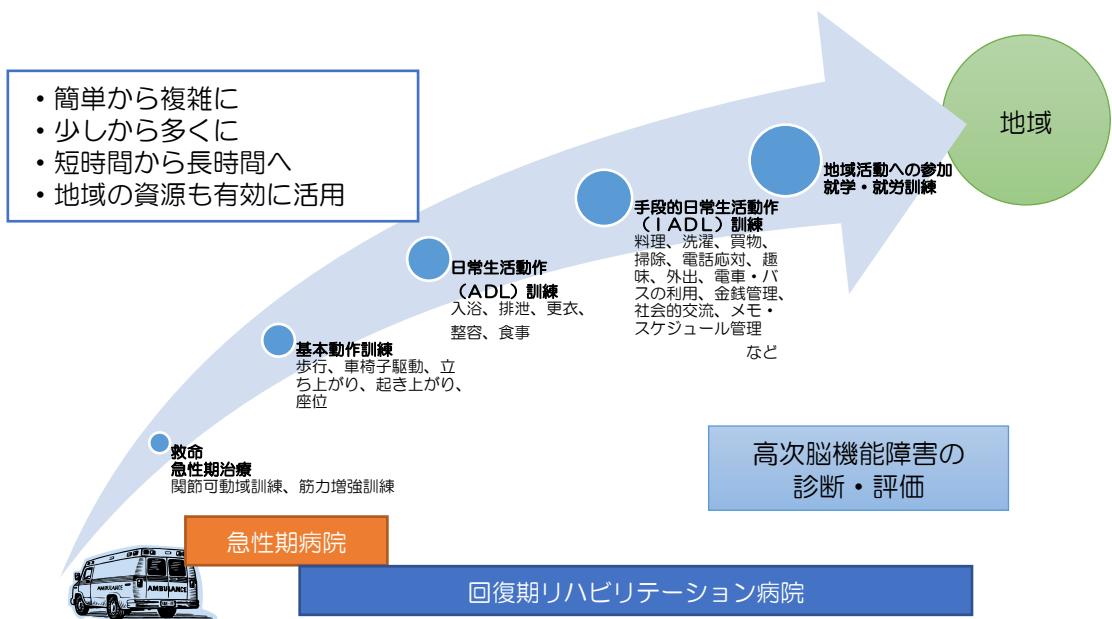
# 高次脳機能障害のリハビリテーション

高次脳機能障害のリハビリテーションには、発症・受傷からの時期や目的に合わせて以下のようないくつかのプログラムがあります。

- 1) 医学的リハビリテーションプログラム  
急性期病院  
回復期リハビリテーション病院
- 2) 生活訓練プログラム  
障害福祉サービス（生活訓練、自立訓練など）
- 3) 就労移行支援プログラム  
障害福祉サービス（就労移行支援など）  
職業リハビリテーション

救命を経て、寝返りや立ち上がり、歩行、食事や入浴など、生活に必要な基本的な動作（ADL）から、スケジュールや金銭管理、買い物などより応用的な生活動作（IADL）の訓練を行います。

日常生活、地域生活、就労へと目標に合わせたリハビリテーションを行いますが、すべてに共通することは、「簡単から複雑に」「少しから多くに」「短時間から長時間へ」「地域の資源も有効に活用」することです。



\*より詳しいプログラムの内容は、「国立障害者リハビリテーションセンター 高次脳機能障害情報・支援センター([http://www.rehab.go.jp/brain\\_fukyu/how04/](http://www.rehab.go.jp/brain_fukyu/how04/))」をご覧ください。